

こころのふれあいを何よりも大切に



医療法人 厚生会  
道ノ尾病院会報

2016 Vol.19  
Shinsei

2016年8月24日 発行

医療法人 厚生会 道ノ尾病院 「新星」Shinsei 編集部  
〒852-8055 長崎市虹が丘町1番1号  
TEL 095-856-1111 FAX 095-856-4755

# 新星

題字：松本 寿美子

昨年デイケアで咲いた向日葵

## CONTENTS

- 2 新しい精神科医の紹介
- 3 福岡大学精神科名誉教授西園昌久先生の病院訪問
- 3 長崎大学医学部特別講義室命名除幕式
- 3 行動制限最小化委員会
- 4 院内研究発表会の報告
- 5 事業所紹介①/部署紹介②
- 6 デイケア・かいこうよりお知らせ
- 7 入院について②
- 8 夏祭りを終えて/熱中症について

## 基本理念 患者第一主義

### 基本方針

- 挨拶と笑顔をもって皆様（患者・家族）に接します
- 疾病や治療に対して十分な説明と同意に基づき、患者本位の医療を提供します
- 患者の権利を認識し、尊重します
- 地域における責務を認識し、開かれた病院を目指します
- 職員研修を行い、常に研鑽に努めます
- 健全な病院経営に努めます
- 患者の社会復帰に努めます

精神科医

福嶋  
翔



## 新しい精神科医のご紹介

2016年4月より精神科常勤医として勤務させて頂いています福嶋翔と申します。医師7年目、精神科医としては4年目です。長崎市出身で、大学まで長崎で育ちました。2009年に長崎大学を卒業後、2年間の初期研修の後、神田哲郎院長先生(当時)の元、五島中央病院で1年半、内科の後期研修をしておりました。2012年からは佐賀県吉野ヶ里町にある肥前精神医療センターで精神科レジデントとして2016年3月まで勤務しておりましたが、研修が修了したこともあり、長崎に戻ってきました。

道ノ尾病院で勤務させて頂くことになったのは、大学の同級生である城谷先生からの紹介だったこと、病院敷地内外に見られる豊かな自然、そして病院見学の際に、病院スタッフが入院患者さんに対して親しみや愛情を持って関わっているのを見て、この病院の基本理念である「患者第一主義」が実践されていると感じたからです。勤務開始から2ヶ月が経ちますが、清潔感のある病棟と、患者さんに愛情をもって接する病院スタッフに囲まれ、気持ちよく勤務させて頂いています。

佐賀での精神科研修の傍で脳画像研究に興味をもち、機能的MRIを用いたアルコール依存症の脳画像研究を数年前から試行しています。長崎大学精神科の小澤寛樹教授にご相談の上で2015年に長崎大学大学院に所属させて頂きつつ、週に1日ですが現在も引き続き佐賀で画像研究をしております。そのため不規則な勤務体制になっており担当患者さんや医局の先生方、病院スタッフにご迷惑をおかけしております。

現在の役割ですが、病棟診療の他に、新患外来を担当させて頂いています。今後も精神病圏内から気分障害、認知症の患者さんなど幅広く診療をさせて頂きながら引き続き自己研鑽を務めたいと考えています。また、永田剛先生が長らくされていたアルコール依存症リハビリテーションプログラム(ARP)の担当医を、4月から引き継がせて頂きました。当院でのARPIは1977年に松本博隆副院長先生(当時)が始められたとお聞きしていますが、道ノ尾病院での伝統を守りつつ、病棟スタッフとも連携し、当事者の方が少しでも回復できるよう情報提供およびサポートを務めていきたいと思っています。

話は変わり、私事ですが今年4月に長女を授かりました。理事長先生や医局の先生方など多くの方々にお祝い頂き、とても嬉しかったです。しかし、楽しい育児生活の反面、趣味であるランニングがあまりできておらず、体重が徐々に増加しているのが現在のちょっとした心配事です。診療と育児、そして自身の健康維持をいかに両立させるか試行錯誤中ですが、良いアイデアをお持ちの方がいらっしゃれば是非教えて頂ければと思います。

以上、精神科医としても父としてもまだまだ新米で皆さまに教わるばかりですが、これからどうぞ宜しくお願いします。

## 福岡大学名誉教授西園昌久先生が 道ノ尾病院の見学に来院されました

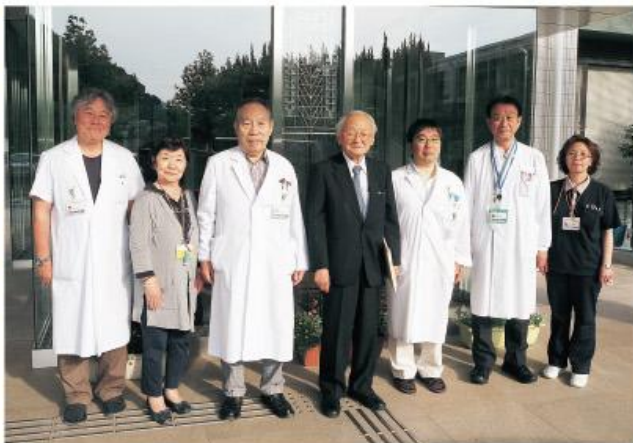
平成28年5月20日

日本の医学者、精神科医として高名な西園昌久先生が当院の見学に来院されました。

西園先生は九州大学医学部助教授を経て、1973年福岡大学精神神経科教室の教授、医学部長に就任されました。精神分析の大家であり、日本における精神分析の先駆者といえます。著書、共著、翻訳等多くありますが、何よりも精神分析を中心とした精神科医、心理士等の育成に長年携わっておられます。本院院長松本一隆先生、副院長立木均先生も福岡大学で教えを受けています。1999年福岡大学定年退任、名誉教授。心理社会的精神医学研究所開設。日本精神神経学会、日本精神分析学会、西太平洋地域医学教育連合、環太平洋精神科医会議、アジア児童思春期精神医学会、多文化間精神医学会、日本精神分析協会の会長もされています。

今回、当院の外来診察室やみちのおホール、急性期病棟等を見学され積極的にご質問を頂きました。また、デイケアや開所したばかりである ふれあいショップ「かいこう」の売店については多くの地域事業所と協力しながら運営していることに特に感心を示しておられました。

西園先生にお会いして、一同緊張感と共に楽しい貴重な時間を過ごすことが出来ました。また、その後の会合で一隆院長に「いい病院だね」とお褒めの言葉を頂きました。西園先生、ご多忙中、ご視察下さいましてありがとうございます。



## 長崎大学医学部に特別講義室 「松本純隆記念講義室」 銘名除幕式



平成28年4月18日長崎大学医学部に新設された第三講義室「松本純隆記念講義室」の銘名除幕式が行なわれました。

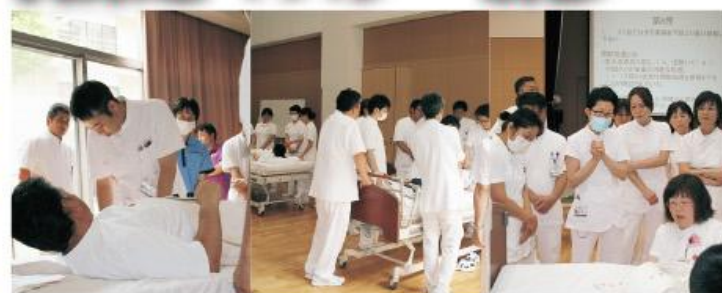
昨年、長崎大学医学部学生の教育環境向上のために改修費の一部を当法人より寄付をさせて頂きました。

式典には、道ノ尾病院から松本純隆理事長、松本寿美子管理局长、松本一隆院長、尾崎剛事務長が参列致しました。長崎大学からは、下川医学部長、河野総務担当理事、柳原副医学部長、安武先端医療センター長と学生約50名が参列され、除幕式と感謝状の贈呈が行なわれました。下川医学部長の謝辞、学生代表の謝辞に続いて、松本理事長からは今後も人間性に富む優秀な医療人の育成に尽力する旨を述べました。

今回、理事長の名前を冠した講義室で100名以上の学生が最新の設備を使用して開講することになりました。その助力ができたことを喜び、また当院の名前を学生の方に知っていただけたことに心より感謝申し上げます。



## 拘束帯マスター研修



平成28年5月27日 行動制限最小化委員会

看護部を中心に、2年ぶりに拘束帯の正しい使用方法や行動制限に関する法律を学ぶ研修会を実施しました。

当委員会は、正しい手技を定着するために平成26年12月に「拘束帯マニュアル」を刊行し、毎年新人研修にも取り入れスタッフ全員が正しく手技を行うことを目標としています。参加者からは「この研修で学んだことをいかして、正しい方法で行っていこうと思いました」「拘束をされている患者様の立場、心身の苦痛を再確認できてよかった」という感想があげられました。

# 第23回 院内研究発表会



## 「アルコールデイケアの役割」 デイケア 丸山さん

当院のアルコールデイケアは開所し20年になります。現在の利用者が何を目標とし、通所に対しての効果をどのように考えて利用しているのか、アンケート調査を実施し、結果の考察と今後の課題について発表させて頂きました。その中で、新たな教育的プログラムを取り入れる必要を感じました。

研究発表に際し、アルコール依存症に関する文献を読み、改めて知識を深めることができました。



## 「認知症対応病棟の 4年間を振り返って」 (認知症対応病棟)

A-1病棟 古場さん

病棟で働き始めてから4年経ち、介護福祉士として初めての症例発表でした。やり方もわからない中、周りの方々から助けをもらい無事発表を終えることができました。病棟全体でのアンケートで「介護福祉士が配属されてよかったか」の質問に対し好評価をもらえたこと、患者様に変化があったことを知り、自信に繋がりました。これからも他職種との連携を大事に患者様中心のケアとさらなる質の向上を行っていきたいと思います。

## 「多職種連携口腔ケア」 歯科衛生士 小嶺さん

「多職種連携で〜」本当に多くの人たちの協力で発表することができ感謝しております。白衣を着て仕事をしている者は、昔から「白衣の天使」と呼ばれ神様の使いで仕事をするためにこの世にきていると思います。患者様や家族のすぐるような思いに寄り添って温かい心で接して励ましていきたいと思っています。多くの仲間と天使の羽を広げていけば大きな仕事ができるのではないかと思います。これからもご協力よろしくお願いたします。



### <発表題目>

#### 1日目

1. 精神科病棟での入院環境における安全管理に向けた検討
2. 認知症病棟のBPSDに対する看護者の負担度
3. アルコールデイケアの役割
4. 統合失調症で陰性症状がある患者の活動
5. 無為・自閉性のある患者へのアプローチ

#### 2日目

1. 多職種連携で口腔ケアを1日2回したら
2. 入院時オリエンテーションの内容と説明頻度
3. 精神科看護における言葉遣いの大切さを感じて
4. 認知症対応病棟の4年間を振り返って

第23回院内研究発表会お疲れ様でした。

時代のニーズに合った研究発表で、活発な質疑が行われて大盛況でした。研究成果を看護の現場で実践していただくように宜しくお願いします。



看護部長  
吉崎 英之



発表者のみなさん お疲れ様でした

## 特別養護老人ホーム 「望星荘」

社会福祉法人「新生会」特別養護老人ホーム「望星荘」は、「道ノ尾病院」を母体として平成15年11月1日に創設された長崎県で第1号のユニット型施設です。

「暮らしの継続」を目指し、施設理念である、

- “①安心して暮らせる場”
- “②人権、プライバシー、尊厳”
- “③自立と自己決定の尊重”
- “④地域との交流”
- “⑤質の高いサービス”

を実践すべく、職員一丸となって頑張っております。

理念の最初に謳われている“安心して暮らせる場”という点については、協力病院である「道ノ尾病院」と「虹が丘病院」が同一敷地内にあることで、何よりも利用者・ご家族の安心に繋がっていると云えます。また、内科医5名と精神科、皮膚科の先生方には毎月の往診をお願いし、緊急時にも即座に対応して頂いております。

現在、厚生労働省及び県の委託を受けたリーダー研修実地研修施設として、年間100名程の受講生を受け入れています。研修内容は、月曜から金曜までの5日間で入居者の暮らしぶりや職員の対応などを見て頂くというものです。施設にとって

も第三者の目が多く入るとい大きなメリットがあると考えています。

今後も“地域から選ばれる施設”“入居者やご家族から「この施設に入居して良かった。」と言って頂ける施設”を目指していきたいと思ひます。これからもご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。



(お問い合わせ：電話 095-855-8116 担当者 松浦)

大好評の連載第2回はセンター4病棟（メンタルヘルスケア）のご紹介です

## 部署紹介コーナー



### スタッフ紹介

看護師長：1名 看護主任：2名  
 看護スタッフ：23名 看護アシスタント：4名  
 OT（兼務）：1名 PSW（兼務）：1名  
 病床60床  
 1日平均患者数：60.2  
 平均在院日数：248.6日 H28.5月末

### 部署の特徴（方針・特色・目標・モットー・体制等）

男女混合のメンタルヘルス病棟、特にアルコール症の治療や社会生活技能訓練（SST）に力を入れています。病棟の目標は「隔離・拘束ゼロ」（H28.6取材時の拘束者はゼロ！）を目指しています。とにかく明るく楽しく（仲良は当たり前）をモットーに働いています。

### スタッフの資格

情報処理・危険物取扱乙4種・初級バイオ技術者・劇物毒物取扱責任者、英検準2級、英検2級、珠算1級、簿記1級、書道5段、登録販売者、図書館秘書

### スタッフの趣味

ソフトボール・ゴルフ・ワイン・焼酎・寝ること、食べること、遊ぶこと・エアロビ・料理・パン作り、パチンコ、タケノコ掘り、家庭菜園、バイオリン

### 部署の研究・業績

「退院促進と減薬」を病棟一同で取り組んでいます。

「クロザピン治療における患者・家族・看護者の変化～そこから見える反省点と今後の看護のあり方～」(2016・高木)

「入退院を繰り返す慢性統合失調症患者へのSSTを用いた関わり～外出を通じた社会性の構築～」(2014・町田)

「当院のアルコールリハビリテーションプログラム（ARP）の動向～新しいアルコール治療の導入によるARP見直しの経過報告～」(2014・吉川)

## ～長崎市出前講座を利用して～



デイケアでは、6月6日に長崎市役所健康づくり課の松本氏を招いて早期発見、がん検診を受けましょう！をテーマに講話を受けました。

50名近くの方が参加し、〇×クイズを交え分かりやすく説明して頂きました。現在、がんになる確率は2人に1人であり誰にでも病気になる可能性があることを知り検診の必要性をより身近に感じることができました。

講座後に利用者の方が健康づくり課へ問い合わせを行いがん検診を受けたと報告があり、一定の成果が得られたのではないかと思います。

高齢化の中、健康に生きがいを感じ一日でも長く通所できるようサポートしていきたいと思ひます。

## ふれあいショップ「かいこう」

# サマーフェスタ 3days

7/21、22、23 開催しました。

ご報告



## ふれあいショップ「かいこう」

場所：道ノ尾病院 さくら棟前  
営業時間：月曜日～金曜日 10時～16時

ふれあいショップ「かいこう」をオープンしてはや半年…

患者様やご家族様、職員のみなさまにもご理解いただき、少しずつショップ運営も軌道に乗り始めてきました。

そこで今回オープン半年を記念し、お客さまのみなさまに感謝をこめて長崎県社会福祉協議会ふれあいバザール合同のイベント販売会を行いました。「かいこう」の商品のみならず県下の作業商品を数多く取り揃え、はじめての企画でしたが多くの方のご来場いただき、盛況に終えることができました。

3日間のイベントをメンバー、関係事業所と協力して行えたことは今後の大きな励みとなります。

今後も皆様に愛されるショップ運営を目指していきますので、今後とも福祉事業のご理解をよろしくお願いいたします。



連載2回目



# 入院について

入院中もご不便のないように  
院内の諸施設についてご紹介します  
(入院に関係なくどなたでも利用できます)



売店

営業時間：8：45～19：00（日祭日は17：00）  
1月1日、2日以外は営業しています。  
取扱品目：日用雑貨・新聞・雑誌・タオル・下着類・オムツ  
食品・弁当・タバコ・宅急便・切手・印紙・葉書など



軽食喫茶「やすらぎ」

営業時間：10：30～15：30（日祭日休み）  
定食、うどん、ちゃんぽん、カレー等



ATM

親和銀行、十八銀行

利用時間：年中無休  
8：45～18：00



理容室

営業時間：9：00～16：30  
（日祭日休み・月曜、土曜午後は病室訪問）  
カット800円、洗髪または顔そりセットは1000円等



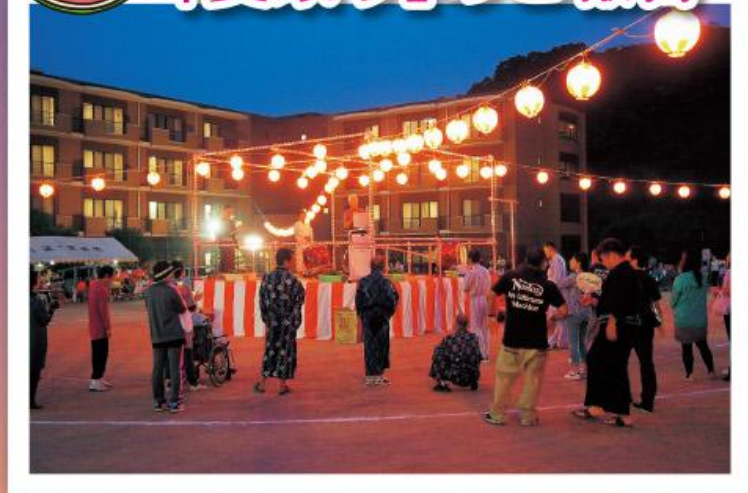
ポストも  
あります



ふれあいショップ「かいこう」

営業時間：月～金曜 10：00～16：00  
取扱品目：革細工、麺類、パン、雑貨、食品（おにぎり、まんじゅう、お菓子）、  
野菜、式見かまぼこ等日替わり商品有

# 「夏祭り」のご報告



道ノ尾病院の夏の風物詩である「夏祭り」が、8月2日(火)に開催されました。

当日は厳しい暑さにも関わらず多くの方に足を運んで頂き、大盛況の催しとなりました。売店には唐揚げ・焼きそば・かき氷・アイス・饅頭などが並び、どのお店にも長蛇の列ができておりました。

日が暮れ始めるとやぐらを囲んでの盆踊りが始まり、望星太鼓やカラオケ大会などのアトラクションも行われました。またV・ファーレン長崎のマスコットキャラクター“ヴィヴィくん”も登場し、子どもから大人まで一緒になって道ノ尾の夏を楽しんでいました。

10月には「秋祭り」も企画しておりますので、今後も当院の行事に足を運んでくださいますようお願い申し上げます。



## 熱中症になりやすい時期になります。

熱中症が起こりやすいのは、太陽が照りつける暑い日だけとは限りません。どんな日に注意したらいいのでしょうか？

### 予防方法

- ①水分をこまめにとりましょう。イオン飲料が適しています。
- ②塩分をほどよくとりましょう。大量の汗をかく時は塩分をとりましょう。ただし、水分制限、塩分制限のある方は主治医と相談しましょう。



- ③ぐっすり眠りましょう。
- ④バランスのよい食事を食べましょう。
- ⑤衣服を工夫しましょう。  
\*吸水性や速乾制のある衣服を着ましょう。
- ⑥日差しをよけましょう。  
\*帽子や日傘を利用しましょう。
- ⑦室温を適温にしましょう。



お部屋でも熱中症になることがありますので、今からの時期は特に気を付けてください。

<参考文献> <http://www.netsuzero.jp>

【医療法人厚生会 道ノ尾病院ホームページ】

<http://www.michinoo.or.jp>

道ノ尾病院

検索



道ノ尾病院携帯サイトはこちらから

お手持ちの携帯のバーコードリーダーより左画像を読み取ってください。お気に入りへの追加もお願い致します。バーコードリーダーが無い場合は下記アドレスを直接入力してください。  
<http://www.michinoo-m.com>

